

潮来市の皆さまへ 新年のごあいさつ

謹んで新年のごあいさつを申し上げます。

昨年も潮来市の皆さまから格別のご声援を賜り、誠にありがとうございました。

昨シーズンは、クラブの伝統を知る昌子源選手や植田直通選手が復帰するなど、既存戦力に経験ある選手たちを加え、タイトル奪還を目指しました。シーズン途中には柴崎岳選手も復帰し、チームとして戦術の構築と積み上げを図りながら粘り強く戦いましたが、最終的には明治安田生命J1リーグ第5位に終わりました。国内タイトル7年連続無冠という事実を、非常に重く受け止めています。その一方で、カシマスタジアムの入場者数がコロナ禍前の水準に戻り、試合日の賑わいだけでなく試合日以外の地域イベントにも人が集まり、かつての活気を実感できるシーズンとなりました。佐野海舟選手が日本代表に初選出されたことも、チームにとっては明るい話題となり、最後まで一緒に戦ってくれた皆さまに改めて感謝申し上げます。

鹿島アントラーズはこれからも地域に根ざしたクラブとして、皆さまに「誇り」と「感動」を届けられるよう、タイトル獲得に向けて精進してまいりますので、引き続き熱い声援をお願いいたします。

年頭にあたり、潮来市の皆さまのご健勝とご多幸をご祈念申し上げ、新年のごあいさつとさせていただきます。

株式会社鹿島アントラーズFC



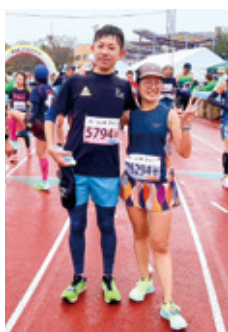
©KASHIMA ANTLEERS

地域おこし協力隊通信

第56回



リポーター…
高橋将行 隊員



つくばマラソン
レース後の一枚

潮来市の皆さん、明けましておめでとうございます。今年も私も地域おこし協力隊をよろしく願います。毎年、寝正月になって時間を浪費している私ですが、今年とは違い、3日がほぼランニング漬けでした。3日で40kmほどは走ったでしょうか、新年早々良い滑り出します。昨年度から、マラソンという「沼」に入り込んでしまい、今シーズンは月2回の大会出場というなかなかハードな活動をしています。今シーズンは既に水戸・坂東・つくばの大会に出場、年明け1月から4月までは市原・勝田・守谷・石岡・九十九里・板橋・かずみがら…と計7大会にエントリー。フルマラソンのタイムも少しずつ記録が良くなっており、昨年11月のつくばマラソンの際にはシーズンの目標であった、フルマラソンサブ3.5（3時間半以内でゴールすること）をクリア。次はサブスリー（3時間以内でゴール）を目標に、月間走行距離を上げたり、ビルドアップ走、閼値走（いきちそう）を繰り返しています。

家族・友人からは「なんでマラソンをやっているのか？」という質問を受けることがありますが、その回答にぎよっとされる事が多く…笑。僕は学生時代からの趣味で、前奏演奏して、人前で演奏することもしばしばあります。が、実は本番にもものすごく弱く、演奏に集中できなかつたり、手が震えたりということがよくあります。いわゆる緊張しいというものです。このチキン性質を克服しなければ…と深刻に考えていたとき、とある若手の箏曲演奏家が「本番前は身体を鍛えて精神を統一する」という試みをしているという記事を拝見しまして、私もその方を真似て、心技体を鍛える→マラソンをする という行動に至ったわけでありました。ここ数年以内に箏曲コンクールにも挑戦を…と密かに考えているので、本番に強くなるというのはどうしても解決しなければいけない課題です。で、実際のところ、演奏会本番に強くなったのか…と言われると、なかなかそんなことはない、マラソンのタイムだけがすくすく成長しているというのが現状です。今年、協力隊活動はもちろん、NPO法人の経営、そして箏教室運営、そしてそこにランニング…と1年駆け抜けてまいりたいと思えますので、是非是非、今年も1年よろしくお祈りいたします。（高橋）